

AEGIS-Women イベントご報告 (MasterClass for AEGIS-Women)

2023年9月2-3日、メドトロニックイノベーションセンター（神奈川県川崎市）で、コヴィディエンジャパン株式会社と AEGIS-Women の共催、日本内視鏡外科学会の後援にて、4年ぶりに MasterClass for AEGIS-Women（手術手技セミナー）を開催しました。29名の参加者とお子さん19名が集まりました。



1日目には、まず北里大学病院の比企直樹先生に、働き方改革などについてご講演いただきました。岩手医科大学附属病院の新田浩幸先生に腹腔鏡下肝臓切除術の手技のポイント解説を、東京医科歯科大学病院の絹笠裕介先生に腹腔鏡下大腸切除術の手技のポイント解説を、そして浜松医科大学医学部附属病院の竹内裕也先生に腹腔鏡下胃切除術の手技のポイント解説をしていただきました。最後に、株式会社ファミリーエの徳倉康之先生に外科医のキャリアプランを考えるグループワークをしていただきました。その後、センターに隣接するホテルで情報交換会を開催しました。子どもたち同士も交流を深め、みんなで楽しい時間を過ごしました。



2日目は、新田先生の肝臓手術の解説、日本医科大学付属病院の上原圭先生の大腸手術の解説、比企先生の胃手術の解説の後、手術トレーニングを行いました。

この手術手技セミナーには託児サービスを併設しており、さらに小学生以上の子どもたちを対象に腹腔鏡手術を体験する MasterClass for kids & teens を開催しました。



ご指導いただいた講師の先生方

上原 圭先生	日本医科大学付属病院
絹笠 裕介先生	東京医科歯科大学病院
竹内 裕也先生	浜松医科大学医学部附属病院
新田 浩幸先生	岩手医科大学附属病院
比企 直樹先生	北里大学病院
徳倉 康之先生	株式会社ファミリーエ



MasterClass for kids & teens を開催して

とりで医療センター 長谷川 芙美先生（AEGIS-Women 運営委員）

2日目に親たちの手術トレーニング中に、託児サービスを利用中の小学生以上を対象に腹腔鏡手術を体験するキッズセミナーを開催しました。まず四谷メディカルキューブの梅澤昭子先生より、外科や手術の歴史、腹腔鏡手術について講義がありました。世界で初めて行われた手術や手術道具などの話に、子どもたちは興味津々の様子でした。

その後、ドライボックスを用いて腹腔鏡操作に挑戦しました。午前中は、胃の模型の周囲にリンパ節を模したビーズを並べ、鉗子を使ってビーズをケースに入れるという「ビーズ郭清」を行いました。はじめは、多くの子がなかなかビーズをつかむことができず苦戦していましたが、子どもたちは自ら試行錯誤したり、先生や友達に相談したりしながら、徐々に上達していきました。午前中の最後は「ビーズ郭清」のタイムトライアルでした。各自郭清したビーズをキーホルダーに入れて記念に持ち帰っていただきました。

午後は、腹腔鏡下できつねの折り紙に挑戦しました。鉗子で折り紙に直線的な折り目をつける操作は、大人でも難しい作業です。子どもたちは根



気強く練習を続け、色々な形のきつねを折っていました。子どもたちの集中力と上達のスピードには驚かされました。

大人の修了式の前に、子どもたちの修了式を行いました。タイムトライアルで1位だった子、腹腔鏡操作の上達が著しかった子などを表彰し、メダルを授与させていただきました。



親が仕事として行っている腹腔鏡手術に、子どもたちが興味を持つきっかけになってもらえれば嬉しく思います。

参加された先生にご寄稿いただきました。



「第3回 MasterClass for AEGIS-Women に参加して」

国際医療福祉大学 消化器外科 向山 順子先生

この度、第3回 MasterClass for AEGIS-Women を受講させていただきました。参加動機は、一流の先生方から直接手術手技をご指導いただける点でした。さらに全国から集まる消化器外科の先生との交流も楽しみにしていました。

一日目の座学は、比企先生の働き方改革についての熱いお話から始まりました。各領域の手術のエキスパートの先生方からは手術のコツをご教授いただき、最後は徳倉先生の話術で楽しくグループワークを経験できました。濃密かつバランスのいい講義内容であったという間の時間でした。その後の懇親会では、同世代の消化器外科の先生方とお話することができ、多くの刺激を受けることができました。

二日目の手術トレーニングでは、私の班は急遽欠員が出たため、助っ人として野村幸世先生が参加してくださいました。まさか自分の人生で女性消化器外科医のレジェンドである野村先生と手術ができる日がくるとは思っておらず、非常に緊張しましたが、貴重な機

会に感謝しています。野村先生にご監督を、絹笠先生にご指導をいただき、全国の外科医で私達が一番贅沢な週末を過ごしたと思います。絹笠先生には、速く動き過ぎるなど自分の悪いクセをご指摘いただき、実際の手術に学びが活きています。

私は研究留学中に結婚・出産し、2021年から生活の拠点を東京に移して現職につきました。医局の異動が大変であったことに加え、知り合いのいない土地で仕事と育児をすることに孤独を感じておりました。しかし、今年度から AEGIS-Women に入会し、志を同じくする消化器外科の先生方とつながりができたことで気持ちが楽になりました。今後もイベントにはできる限り参加させていただく所存ですので、どうぞよろしくお願い致します。最後になりましたが、MasterClass for AEGIS-Women の開催にご尽力くださいました会長の河野先生、運営委員の先生方、そして講師の先生方に心より感謝とお礼を申し上げます。

「MasterClass for AEGIS-Women に参加して」

JCHO 東京新宿メディカルセンター

初期研修医 藏田 愛央伊先生



私が消化器外科領域に興味を持ったのは、医学部5年生の時です。テレビドラマで「腹腔鏡の魔術師」と呼ばれる医師を見て、「腹腔鏡って楽しそう、かっこいい!」と思いました。その後病院実習で本物の手術を見て、自分の技術と努力で直接患者さんを治すことができる外科領域、特に消化器外科領域に憧れを感じました。

今回の MasterClass は、研修病院の指導医の先生から紹介いただき参加しました。医者になってまだ6か月でももちろん実際に手術をしたこともありませんので、心配もありましたが、それ以上にワクワクしながら当日を迎えました。1日目は外科医の働きやすさに対する様々な取り組みに関するお話や各分野の手術手技の解説でした。2日目の手術トレーニングが一番楽しみにしていたイベントで、腹腔鏡下胃切除術を教えていただきました。想像以上に難しいところがいくつもありましたが、初めて手術を見た時に感じたときめきと夢に一步近づいたような高揚感で胸がいっぱいでした。懇親会やワークショップで

はたくさんの消化器外科医の先生方とお話でき、進路相談に乗っていただいたり、他院の消化器外科医の先生をご紹介いただいたりと多くの繋がりを作ることができた充実した時間でした。

2日間を通して印象的だったのは、どの先生も「手術から離れざるを得ない時や大変なことは色々あるけど、それでも外科が楽しくてたまらない！」とおっしゃっていたことです。この先消化器外科医として、女性医師として、今の私には想像できない大変なことがきっとたくさんあると思います。ですが今回ロールモデルとなる女性消化器外科医の先生方にたくさん出会うことができ、非常に励みになりました。腹腔鏡の魔術師になれるかどうかは分かりませんが、初心を忘れずに一步一步頑張りたいと思います。

この度は貴重な機会を設けていただきありがとうございました。今回の MasterClass を機に AEGIS-Women の会員に加わらせていただきました。またこのような機会があればぜひ参加したいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



編集：松永理絵、大越香江